

2026 年度

秋期・春期

久留米大学大学院比較文化研究科
(前期博士課程)

学 生 募 集 要 項

◇ 入試概要	
■ 入試日程等	3
■ 一般入試	4
■ 社会人入試	4
■ 外国人留学生入試	5
■ 飛び級入試	6
◇ 出願手続	7
◇ 試験当日の注意事項	11
◇ 合格発表及び入学手続	12
◇ 学納金	13
◇ 奨学金制度	14
◇ 大学院比較文化研究科案内	15
■ 大学院比較文化研究科の沿革等	15
■ 論文指導教員一覧	16
◇ 試験場案内図	19

久 留 米 大 学

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、水痘等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、症状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めた場合は、この限りではありません。なお上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調管理は十分に注意してください。

個人情報の取扱いについて

個人情報の利用

- ① 入学願書に記載されたあなたの個人情報は、本学における出願処理、書類不備の連絡（これはあなたの在籍校に対し行うこともあります）、入学試験の実施、合格した場合の通知・連絡、入学手続に関する書類の送付・連絡、入学手続をした場合の資料送付に利用します。
- ② 本学は、上記の個人情報を、各種統計資料作成のために利用します。統計資料の公表に際しては、個人が特定できないように処理します。

◎教育理念

真理と正義を探究し、人間愛と人間尊重を希求して、高い理想をもった人間性豊かな実践的人材の育成を目指すとともに、地域文化に光を与え、その輝きを世界に伝え、人類の平和に貢献することを使命とする。

◎アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）

本研究科は、学術的かつ総合的な研究を基本理念として、文学部、人間健康学部、法学部、経済学部、商学部、比較文化研究所、外国語教育研究所を基礎とした文系の総合的大学院である。本研究科は、それぞれの分野において真理と正義を探究し、地域社会に貢献できる高等専門教育研究機関及び生涯教育機関（キャリア・アップ教育機関）として地域文化に着目し、実際の社会問題に対して様々な側面から問題発見・問題解決の能力を持つ人材の育成を目標とする。秋期・春期の入試によって、大学院で学修できる基礎学力を備えており、修士論文を完成させる意志を持つ学生の入学を受け入れる。また、高度の専門的能力を身に着けるために積極的に研究に取り組む意志があり、本学の教育理念に共感する人材を幅広く求める。

◎求める学生像

- ◇ 高度な学術的専門知識を身につけ、教育・研究に携わりたい人
- ◇ 地域産業社会に貢献できる人
- ◇ 地域社会の多様な方面でリーダーとして活躍したい人
- ◇ グローバルな発想を持ち、国際連携・国際貢献に関心を持つ人
- ◇ 中学校教諭専修免許（国語、社会、英語）・高等学校教諭専修免許（国語、地理歴史、公民、英語）の取得を目指す人

◎カリキュラムポリシー（教育課程に関する方針）

前期博士課程においては、それぞれの専門領域についての基礎的及び専門的な知識を修得できるように、前期博士課程 2 年間を通して徹底した少人数教育と個別論文指導を行う。主指導教員と相談の上、多彩な開講科目の中から研究テーマに必要な科目を選択する。

◎ディプロマポリシー（学位授与に関する方針）

大学院には、地域社会の要請に適応する人材養成や高等専門教育などが求められている。地域社会や地域の企業・産業における様々な分野の課題についての研究・調査能力を発揮しうる高度な専門職業人としての能力を有する人材として、必要な単位を取得し、学位論文の審査及び最終試験に合格した者に対して学位を授与する。

前期博士課程において授与する学位は、「修士（学術）」を基本とし、「修士（文学）」、「修士（社会学）」、「修士（保健福祉学）」、「修士（法学）」、「修士（政治学）」、「修士（経済学）」の学位を授与することもできる。

入試概要

1 入試日程

願書受付期間	試験日	合格発表	入学申込締切日	入学手続締切日
秋期 ^(注1) 2025年8月1日(金) ～8月8日(金)【必着】	2025年 9月1日(月)	2025年 9月19日(金) に発送する	2025年 9月30日(火) 【必着】	2025年 12月12日(金) 【必着】
春期 ^(注2) 2026年1月5日(月) ～1月14日(水)【必着】	2026年 2月11日 (水・祝日)	2026年 2月20日(金) に発送する	2026年 3月9日(月)【必着】	

(注1) 一般入試、社会人入試、及び外国人留学生入試を実施します(飛び級入試は実施しません)。

(注2) 一般入試、社会人入試、外国人留学生入試及び飛び級入試を実施します。

※「受験票」は、願書受付締切後本人宛に送付します。試験日3日前までに「受験票」が届かない場合は、入試課へ連絡してください。

※ 自然災害または国内外の情勢等により、入学試験の実施が困難な場合は、試験日等を変更する可能性がありますので、本学ホームページを確認してください。

2 試験場・試験会場

◇ 試験場：福岡県久留米市御井町1635 久留米大学御井キャンパス

◇ 試験会場：試験当日の朝に御井本館1階に掲示します。

3 募集人員 ◇ 秋期入試 15名 ◇ 春期入試 15名

4 入学者選抜方法

入学者の選抜は、研究計画書、筆記試験(専門科目)、口述試験及び出身大学(学部)長が証明する成績等を総合して判定します。

試験日	試験科目	配点	時間
秋期 ：2025年9月1日(月)	筆記試験(専門科目※)	200点	11:00～12:30
春期 ：2026年2月11日(水・祝日)	口述試験	50点	13:30～

※ 専門科目は、16～18ページの論文指導教員一覧のうち、主指導を希望する教員の②専門領域から出題されます。

※ 教員によっては、筆記試験(専門科目)において外国語の問題を含むことがあります。

(備考) 試験当日は、10時40分までに集合してください。

5 出願資格

《一般入試》

下記のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学の卒業者、または 2026 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者、または 2026 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者、または 2026 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入學させる本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (7) 本研究科において、出願資格の個別審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で 22 歳に達した者（詳しくは 6 ページを参照のこと）
- (8) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者、または 2026 年 3 月までに修了見込みの者
- (9) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または 2026 年 3 月までに修了見込みの者

《社会人入試》

下記のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者、または 2026 年 3 月までに卒業見込みの者で、入学時に 2 年以上の職業経験を有している者（出願時の在職は問いません）
- (2) 文部科学大臣の定めるところにより、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時に 2 年以上の職業経験を有している者（出願時の在職は問いません）
- (3) 本研究科において、出願資格の個別審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で入学時に 2 年以上の職業経験を有し（出願時の在職は問いません）、24 歳に達した者（詳しくは 6 ページを参照のこと）
- (4) 入学時に、大学卒業後 5 年以上経過している者
- (5) 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者で、勤務先からの推薦により在職のまま派遣される者
- (6) 本学のいずれかの学部に社会人選抜で入学し、2026 年 3 月までに卒業見込みの者または卒業した者

《外国人留学生入試》

日本国籍を有しない者で下記のいずれかに該当し、入学後「留学」の在留資格が取得できる者
※ 国外在住者は秋期入試のみです。

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学の卒業生、または 2026 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者、または 2026 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者、または 2026 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または修了見込みの者
- (5) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入學させる本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (6) 本研究科において、出願資格の個別審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達した者（詳しくは 6 ページを参照のこと）
- (7) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者、または 2026 年 3 月までに修了見込みの者
- (8) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または 2026 年 3 月までに修了見込みの者

(注) 外国の学校（日本国外）の大学を卒業（卒業見込を含む）した外国人留学生は、上記に加え、次の要件を満たす者

- ① (財) 日本国際教育支援協会または国際交流基金が実施する「日本語能力試験」N1 または N2 の認定を受けていること。
- ② 日本学生支援機構が実施する日本留学試験（過去 2 年間に実施された試験のいずれか）において、日本語（読解、聴解及び聴読解の合計）の 250 点以上を取得していること。

大学卒業資格を有していない者の出願資格の個別審査について

大学卒業資格を有していない者であっても、本学が指定した年齢に達した者で、本研究科による個別審査により出願資格と同等以上の学力があると判定された場合、出願することができます。出願資格の個別審査を希望する者は、9月末日までに入試課（0942-44-2160）までお問い合わせください。

◇ 資格審査申請期間 2025年10月14日（火）～10月24日（金）【必着】

◇ 資格審査申請手続

出願資格の個別審査を希望する者は、大学院出願資格審査申請書及び提出書類を入試課へ「簡易書留」にて、郵送してください。

希望者は事前に入試課まで連絡してください。

【資格審査提出書類】

- ① 大学院出願資格審査申請書（本学所定用紙）写真貼付のこと
- ② 最終出身学校等成績証明書（厳封されているもの）
- ③ 最終出身学校等卒業（修了）証明書またはそれに準ずるもの
- ④ 志望理由書（本学所定用紙）
- ⑤ 「1万字程度の論文」または「卒業後の成果物の提出※」

※卒業後の成果物とは、自己の能力を証明する書類等

例えば、著書、論文、学会発表、特許、専門性にかかる資格、実務経験または語学力等を証明する書類等。資格保有者はその写しを添付してください。

◇ 資格審査の結果通知

資格審査の結果は、12月1日（月）以降、本人宛てに郵送にて通知します。

なお、出願が認められた者は、出願時に当該通知書を提出してください。

《飛び級入試（春期入試のみ）》

学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得した者と、本研究科において認めた者（これを「飛び級進学出願者」といい「飛び級進学者」には、大学の卒業資格は認められていないので注意してください）

※留意事項

- (1) 春期入学試験のみ募集します。
- (2) 学部（他大学を含む）の3年次在籍者に限ります。
- (3) 3年修了時まで100単位以上（教職課程等の単位を除く）を修得し、かつA評価の単位合計が修得単位合計の70%以上必要です。

※ 受験時に要件を満たさず見込みで受験した者は、2026年3月までに上記要件を満たさなかった場合、入学許可を取り消します。

- (4) 1万字程度の論文を提出してください。

出願手続

1 出願書類の提出方法

比較文化研究科ホームページから「学生募集要項」「出願書類」をプリントアウトし、本研究科所定の出願書類提出用ラベルを使用し、郵便局の窓口から「簡易書留」にて郵送してください。

なお、窓口（月～金曜日（祝日を除く）9時～17時）に出願書類を提出する場合は、入学検定料を納入後、持参してください。

2 出願書類の提出先

〒839-8502 福岡県久留米市御井町 1635 久留米大学 入試課
TEL : 0942-44-2160（直通） FAX : 0942-43-4539

3 入学検定料

入学検定料 32,000 円

※ 本研究科所定の振込用紙を使用し、銀行の窓口（ゆうちょ銀行を除く）にて納入してください。

※ 納入した入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。

4 出願時の注意事項

- (1) 出願書類に不備がある場合は、受理しないので、十分注意してください。
- (2) 出願後の提出書類の内容変更は、いかなる理由があっても認めません。
- (3) 提出書類に虚偽の記載があったことが明らかになった場合、合格を取り消します。
- (4) 出願書類は出願者自身で考えた文章で提出してください。人工知能等での自動生成や他者による作成が判明した場合、合格を取り消します。
- (5) 日本国外在住者は、出願前に必ず入試課へお問い合わせください。
- (6) 日本語能力試験等の証明書は、「日本国際教育支援協会日本語試験センター」や「国際交流基金日本語試験センター」等に、成績証明書類の内容について照会する場合があります。
- (7) 状況によっては追加書類の提出を求める場合があります。
- (8) 提出された出願書類は、いかなる理由があっても返却しません。
- (9) 出願書類はすべて締切日【必着】です。（消印有効ではありません）

5 出願手続書類一覧

出願書類	留意事項	
入学願書	本研究科所定の用紙に記入してください。	共通
履歴書	本研究科所定の用紙に記入してください。	共通
写真票・ 入学検定料納付票	本研究科所定の用紙に記入してください。 本研究科所定の振込用紙を使用し、振込送金証明書を貼付してください。	共通
研究計画書	ア 本研究科所定の用紙に記入してください。(パソコンでの作成可) イ 後期博士課程への進学希望の有無を記入してください。	共通
成績証明書*	出身大学の所定の用紙に当該大学(学部)長が証明したもの(原本)を提出してください。 ※ 外国の学校を卒業している場合は、次ページを参照のこと。 ※ 飛び級入試は2年次までの成績証明書を提出してください。 合格後、3年次までの成績証明書を提出してください。	共通
卒業証明書*	出身大学の所定の用紙に当該大学長が証明したものを提出してください。 卒業見込みの者は卒業見込証明書(原本)を提出してください。 ※外国の学校を卒業している場合は、次ページを参照のこと。	共通 (飛び級入試除く)
日本語能力の 証明書	次のいずれか1つ(原本)を提出してください。 ①(財)日本国際教育支援協会または国際交流基金が実施する「日本語能力試験」N1またはN2の合格認定書 ②日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の「日本語」の成績通知書 *過去2年間に実施された試験のいずれかにおいて、「日本語」400点満点(記述を除く)中、合計250点以上の成績を得ていること。	外国人留学生で日本国外の大学卒業(見込)者
住民票	居住する区・市役所等で発行される証明書で、すべての項目(在留資格、在留期間、登録証明書番号等)が記載されたものを提出してください。また出願書類には、必ずこの証明書記載の氏名を用いてください。なお受験のため短期間(90日以内)滞在する者は、入国査証の写しを提出してください。 ※ マイナンバーの記載がないものを提出してください。	外国人留学生
留学生調査書	本研究科所定の用紙に記入してください。 (添付書類)添付書類はA4サイズに統一してください。 ① 本人の預金通帳の写し ・表紙を含む全ページの写し(過去1年分は必要) ・収入、経費支出がわかるもの(複数の通帳で管理している場合、すべての通帳の写し)提出不可能な場合は、その理由と出入金の経緯を記入した文書を添付すること。 ② 資格外活動許可書の写し(該当者) ・パスポートの記載部分の写し。在留資格カードの写しは不可。 ③ 状況によって①、②以外の書類を求める場合があります。	外国人留学生
パスポートのコピー	氏名・生年月日・写真・性別・国籍・在留資格・在留期間が記載されているページを全てコピーしてください。(用紙サイズ A4)	外国人留学生
論文	1万字程度(400字づめ25枚程度)の論文を提出してください。	飛び級入試
在学証明書	在学している大学の所定の用紙に当該大学長が証明したものを提出してください。※合格後、学部3年次の退学証明書を提出してください。	飛び級入試

日本国外在住者は別途書類が必要です。出願時までに入試課へお問い合わせください。(秋期入試のみ)

(注1) 改姓改名等により証明書と氏名が異なる人は、戸籍抄本等(証明ができるもの)を提出してください。

(注2) 提出された出願書類は、返却できません。

※ 証明書には氏名、生年月日、入学年月、卒業年月が記載されていることを必須とします。

卒業証明書または成績証明書のいずれの証明書にも記載されていない場合は、在籍期間が分かる証明書(例:在学期間証明書)等を提出してください。

A 中国国内^{*}の教育機関を卒業(見込)の場合 ※香港、台湾、マカオを除く

中華人民共和国駐日本国大使館及び総領事館は、中国国内で発行された卒業証書及び成績表等の文書のコピーと原文一致、翻訳文と原文一致の公証を発行しません。中国国内で発行された各種証明書の公証・認証手続は、中国国内の CHSI (中国高等教育学生信息网) (北京市) もしくは CHSI の日本代理機構、CSSD (教育部学生服务与素质发展中心) において行われます。

中国の大学を卒業している場合は、下記の書類が必要です。認証機関が認証した電子報告書を申請して出願してください。日本の4年制大学を卒業した外国人留学生はこの手続は不要です。

大学を卒業した者

1. 大学の卒業証書の原本 (コピー後、返却)
2. 学位証書の原本 (コピー後、返却)
3. 大学の成績証明書 (原本)
4. 中国高等教育学位在线验证报告 中国高等教育学生信息网 (CHSI) が認証したもの^{*}
5. 中国高等教育学歴認証 中国高等教育学生信息网 (CHSI) が認証したもの^{*}
6. 中国高等教育成績認証 中国高等教育学生信息网 (CHSI) が認証したもの^{*}

出願時において、卒業見込者の場合

出身大学が発行する「学位取得見込証明書」「卒業見込証明書」(日本語訳を添付)を提出してください。卒業後は、速やかに「大学を卒業した者」に記載の手続を完了してください。

※中国高等教育学生信息网 (CHSI) が発行する認証書は、出願締切日までに認証機関からの電子認証報告メールが、直接久留米大学へ送信されるように申請してください。

また、申請受付を完了したことがわかる証明画面等を印刷し、出願書類に同封し提出してください。

久留米大学 入試課 ⇒ nyushi@kurume-u.ac.jp

申請に関する詳細は、認証機関の Web サイトでご確認ください。

■注意事項

1. 出願期間内に認証書が本学に到着しない場合、当該試験は受験できませんのでご注意ください。
なお、認証機関による認証書以外に、出身大学より発行された学部の卒業証明書・成績証明書を提出する必要があります。
2. 外国語で作成された証明書は、日本語訳を添付してください。
3. 合格後であっても、認証書が無効な場合は、入学許可を取り消します。
4. 志願者本人が受信した電子認証報告メールの転送では認められません。必ず、認証機関から久留米大学へメールが直送されるように手配してください。

B A以外の教育機関を卒業(見込)の場合

1. 大学の卒業証書の原本 (コピー後、返却)
2. 学位証書の原本 (コピー後、返却)
3. 大学の成績証明書 (原本)

- ・卒業証明書等及び成績証明書の発行を行わない外国の大学を卒業した者は、原本を出願時に提示してください。(コピー後、返却)
- ・外国語で作成された証明書は、日本語訳を添付してください。

- ◆ 卒業証書など再発行できないものは、「原本証明がされたコピー (Certified True Copy)」を提出してください。その原本のコピーは、大学または大使館・公証役場などの公的機関に認証をお願いしてください。

6 長期履修制度

長期履修制度とは、社会人を対象に前期博士課程において本来の修業年限（2年）を超えて一定の期間（一律4年）にわたり計画的に履修して修了することを認める制度です。なお、在学中の長期履修制度への変更申請や、長期履修制度適用後の履修期間の短縮は、一切認められません。

長期履修制度の適用を希望する者は、出願前に入試課へお問い合わせいただいた上で、出願時に長期履修申請書（本研究科所定の用紙）を提出してください。本研究科にて審査し、適切であると認定した者（長期履修者）へ、合格通知と併せて長期履修許可の通知を行います。

試験当日の注意事項

- (1) 試験当日、試験室は10時に開室します。受験生は、10時40分までに各自受験番号の席に着いてください。10時45分から試験に関する説明があります。
- (2) 試験開始後20分を経過した後は入室できません。交通渋滞などを考慮し、時間に余裕をもって試験会場へ到着してください。なお、入学試験専用の駐車場はありません。
- (3) 「受験票」は、必ず持参してください。試験当日に「受験票」を紛失、または持参し忘れた場合は、直ちに係員へ申し出てください。
- (4) 携帯電話の電源は切ってください。
- (5) 「受験票」は、試験中常に机の上の見やすい所に置いてください。
- (6) 「受験票」のほかに試験時間中、机の上に置けるものは下記のとおりです。これ以外の所持品を机の上に置いてはいけません。

所持品	注意事項
鉛筆・シャープペンシル	黒い芯
消しゴム	プラスチック製
鉛筆削り	電動式、大型のもの、ナイフ類を除く
時計	辞書や電卓、端末等の機能があるものやそれらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音がするもの、大型のものを除く。 ※試験室には時計はありませんので、必ず持参してください。
ハンカチ	無地のもの
ティッシュペーパー	袋または箱から中身だけ取り出したもの

※ 上記の所持品以外で試験中に使用できるものは、眼鏡、マスク、目薬、座布団（無地のもの）、ひざ掛け（無地のもの）とします。

- (7) 辞書の持ち込みはできません。
- (8) 試験開始後は、その科目の解答用紙の回収が終わるまで退室できません。
- (9) 試験途中やむを得ない理由で退出を願う者は、監督者に申し出てください。
- (10) 解答用紙及び下書き用紙に受験番号を必ず記入してください。なお、受験番号の記入漏れ及び誤記入は、採点の対象としない場合もあるので十分注意してください。
- (11) 解答用紙には、解答以外の不必要な文字、符号などを記入しないでください。
- (12) 不正行為等を行った場合は、その場で受験中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての成績を無効とします。なお、警察に被害届を出す場合があります。

※ 「不正行為等の取扱い」については、ホームページを確認してください。

<https://best.kurume-u.ac.jp/admissions/topics/ng/>

- (13) 最終試験終了後は、特に事前の指示がない限り随時帰宅してかまいません。

合格発表及び入学手続

1 合格発表

受験者全員に合否を郵送にて通知します。合否に関する電話での問い合わせには一切応じません。

2 入学手続

合格通知を受けた者は、本研究科所定の書類及び指示にしたがって、手続をしてください。

学納金

1 一般履修者 (2025 年度)

(単位：円)

項目	納期	1 年次		2 年次	
		入学時	後期	前期	後期
入 学 金		240,000			
授 業 料		275,000	275,000	275,000	275,000
教 育 充 実 料		5,000	5,000	5,000	5,000
合 計		520,000	280,000	280,000	280,000

※ 本学卒業生は、入学金が半額 (120,000 円) となります。

※ 2026 年度の学納金は改定することがあります。

2 長期履修者 (2025 年度)

(単位：円)

項目	納期	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
		入学時	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
入 学 金		240,000							
授 業 料		137,500	137,500	137,500	137,500	137,500	137,500	137,500	137,500
教 育 充 実 料		2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
合 計 (他大学卒業生)		380,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000

※ 本学卒業生は、入学金が半額 (120,000 円) となります。

※ 入学後の学納金 (授業料及び教育充実料) は通常の修業年限である 2 年を 4 年間で分割して納入することになります。なお、留年した場合は、正規の授業料及び教育充実料を 1 年ごとに納入することになります。

※ 2026 年度の学納金は改定することがあります。

3 外国人留学生 (学納金減免制度)

外国人留学生のうち、学業成績、人物ともに優秀で、経済的に修学困難な者に対し、学納金の減免を行うことにより外国人留学生の勉学助成に寄与することを目的として学納金減免制度を設けています。

- ・採用者数 対象者の成績優秀者
- ・減 免 額 入学金・授業料の半額
- ・手続締切 4 月中旬頃

奨学金制度

1 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構は、人物、学業ともに優れ、経済的な理由のために修学困難な者に奨学金を貸与して、人材育成を目的とした育英奨学事業を行っている独立行政法人です。

第一種奨学金（無利子貸与）、第二種奨学金（有利子貸与）の種別がありそれぞれ学力基準と家計基準を満たした者が出願資格を得ます。

- ・ 貸与月額（2025年度入学者）

{	第一種奨学金：50,000円または88,000円 第二種奨学金：50,000円, 80,000円, 100,000円, 130,000円, 150,000円の中から希望により選択
---	-------------------------------------------------------------------------------------------------
- ・ 手続締切 4月下旬頃

2 久留米大学大学院奨学金

本研究科に優秀な研究者及び指導者の育成を図ることを目的として奨学金制度を設け、学業、人物ともに優れ、健康であって、経済的理由により修学が困難と認められる者を対象に奨学金を貸与します。

- ・ 貸与年額 600,000円
- ・ 貸与者数 8名（後期博士課程含む）
- ・ 返 還 本研究科終了後10年以内（利子1%）
- ・ 日本学生支援機構の奨学金に申込み、不採用となった場合に申込受付を行います。

3 外国人留学生への奨学金

(1) 久留米大学大学院私費外国人留学生奨学金

経済的に修学困難、かつ学業、人物ともに優れた外国人留学生に対し、経済援助を行うことを目的として、大学独自の奨学金制度を設けています。

- ・ 採用者数 10名（2024年度実績）
- ・ 支給額 月額30,000円
- ・ 支給期間 1年間
- ・ 手続締切 4月中旬頃

(2) その他の奨学金

外国人留学生に対する奨学金制度として、次の奨学金があります。

学習奨励費（文部科学省）・ロータリー米山奨学金・平和中島財団奨学金・公益信託椎木正和記念アジア留学生基金奨学金・（財）福岡県国際交流センター留学生奨学金・久留米留学生奨学金・朝鮮奨学会奨学金等

大学院比較文化研究科案内

1 大学院比較文化研究科の沿革

久留米大学は、かつて医学部と商学部から成る単科大学でしたが、昭和 62 年 (1987) から総合大学への動きが始まり、それと並行して文系大学院の設置が準備されました。大学院比較文化研究科の修士課程 (前期博士課程) が開設されたのは、平成元年 (1989)、続いて博士課程 (後期博士課程) が 2 年後の平成 3 年 (1991) にスタート、その後、学部、学科があいついで増設され、文学部、人間健康学部、法学部、経済学部、商学部、医学部をベースにする学際的な総合大学院に急成長しました。

2 大学院比較文化研究科の概要

久留米大学大学院比較文化研究科は、日本、アジア、欧米の文化及びそれらの相互の接触によって生じる世界文化と人間行動について、その構造と機能を比較分析し、文化接触の実態を総合的かつ分析的に研究することを目的とした学際的大学院であって、文学部、人間健康学部、法学部、経済学部、商学部、医学部、外国語教育研究所及び比較文化研究所の諸部門を基礎とし、情報学、健康・スポーツ科学、文学、社会学、保健福祉学、法学、政治学、経済学及び商学 (後期博士課程のみ) の学術領域を包括するものです。

特に、文化接触についての実態や人間関係に関する研究は本研究科の中核をなすものであり、日本のみならず世界における比較文化研究の主導的役割を果たすことを目指しています。

本研究科には、前期博士課程と後期博士課程が設置されています。前期博士課程では、広い視野に立って精深な学識を修め、専門分野における研究能力を身につけることを目指すと共に、高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を持つ人材の養成を目指しています。前期博士課程修了者には、修士 (学術、文学、社会学、保健福祉学、法学、政治学、経済学) の学位が授与されるほか、中学・高校教員の専修免許状 (国語、社会、地理歴史、公民、英語) や各種の資格を取得するのに有利な条件を提供しています。後期博士課程では、博士の学位を取得して、将来、研究分野について研究者として自立して研究活動ができるような高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を得ることのできる人材の養成を目指しています。

3 履修方法

本研究科の講義科目は、必修科目と選択専門科目に大別されます。

必修科目は、研究方法や修士論文の作成方法等の修得を図ることを目的としています。他方、選択専門科目は、それぞれの専門領域の知見を深めることを目的としています。

主指導教員の指導のもと、研究題目を定め、履修登録を行います。履修登録に当たっては、主指導教員の承諾が必要となります。

- (1) 必修科目：主指導教員による研究指導Ⅰ及び研究指導Ⅱ (各 4 単位 計 8 単位)
主指導教員による研究指導であり、修士論文の作成に必要な指導を受けます。
なお、主指導教員は、出願時に 16~18 ページの論文指導教員一覧から選択してください。
- (2) 選択専門科目：選択専門科目及び主指導教員以外の研究指導Ⅰ (各 4 単位 計 24 単位以上)
主指導教員の指導のもと、研究に必要な選択専門科目を履修します。
なお、主指導教員以外の研究指導Ⅰは 4 単位まで選択専門科目に含めることができます。

4 学位の授与

本研究科（前期博士課程）を修了した者には、「修士（学術）」を基本とし、一定要件を満たした場合には、「修士（文学）」、「修士（社会学）」、「修士（保健福祉学）」、「修士（法学）」、「修士（政治学）」、もしくは「修士（経済学）」の学位を授与します。

なお、修士学位を取得するためには、2年以上の在学期間に、上記3の単位を修得した上で、学位論文*の審査及び最終試験に合格しなければなりません。

※ 4つのセメスター論文をもって学位論文に代えることができます。

5 教員免許状の取得

本研究科では、所要の基礎資格を有する者が教育職員免許法に定める所要単位を修得することによって、次の表の教員免許状を取得することができます。ただし、専修免許状は、中学校または高校教諭の一種免許状を所持していることが条件です。

免許状の種類	免許教科
中学校教諭専修免許状	国語、社会、英語
高等学校教諭専修免許状	国語、地理歴史、公民、英語

6 イブニング講義

社会人入学者の希望を配慮して、担当教員との話し合いにより、毎週月～金曜日のイブニング講義（午後6時30分～8時）を開講することができます。

7 論文指導教員一覧

2025年5月現在（五十音順）

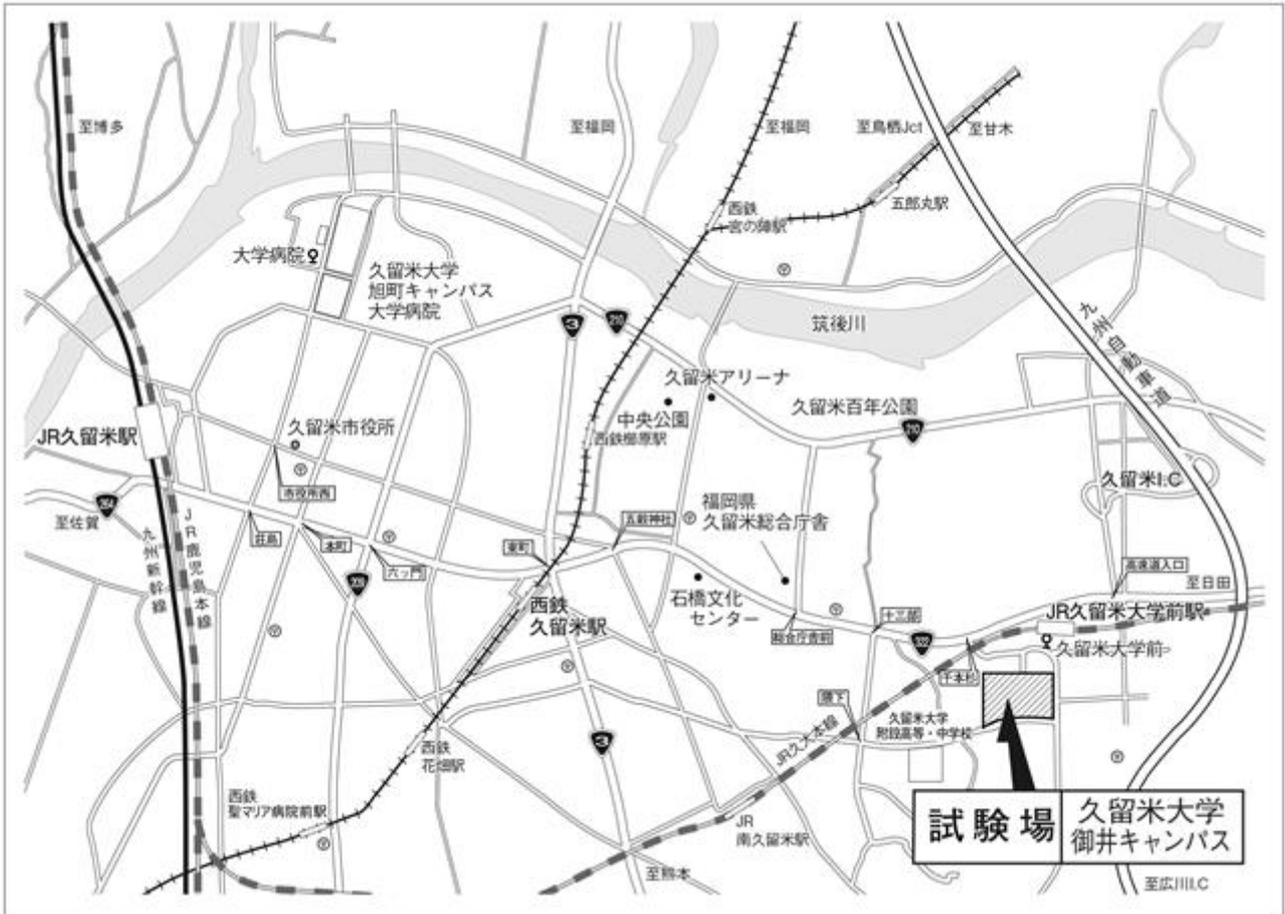
教員氏名	①担当予定の専門科目	②専門領域	③授与できる学位
浅田 浩文*	① 言語教育学 ② 第二言語習得、社会言語学など ③ 学術または文学		
在澤 英俊	① 民事法学 ② 民法など ③ 学術または法学		
池口 守	① 西洋史学 ② 古代ローマ史など ③ 学術または文学		
石川 真人	① 民事法学 ② 民法、法史学など ③ 学術または法学		

教員氏名	①担当予定の専門科目	②専門領域	③授与できる学位
石橋 潔	① 社会学	② 福祉社会学、対面性の社会学など	③ 学術または社会学
上原 紀美子	① 社会福祉学	② 社会保障論、公的扶助論など	③ 学術または社会福祉学
大庭 卓也	① 日本文学	② 日本近世文学、日本古典文学、漢文学など	③ 学術または文学
大場 はるか	① 西洋史学	② ヨーロッパ近世史など	③ 学術または文学
神本 秀爾	① 文化人類学	② カリブ海地域研究、日本研究など	③ 学術または文学
川路 崇博	① 情報学	② 知能情報学、創造工学、知識科学など	③ 学術
桑野 栄治	① 東洋史学	② 朝鮮史学など	③ 学術または文学
小原 清信★	① 公法学	② 行政法など	③ 学術または法学
境 和彦	① 理論経済学	② ゲーム理論、ミクロ経済学など	③ 学術または経済学
佐々木 拓雄	① 国際関係論	② 東南アジア地域研究など	③ 学術または政治学
塩津 敏彦	① 言語教育学	② 第二言語評価論など	③ 学術または文学
周家 礼奈	① 公法学	② 行政法、環境法など	③ 学術または法学
譚 康融	① 金融論	② 金融工学など	③ 学術または経済学
帖佐 隆	① 新領域法学	② 著作権法、特許法など	③ 学術または法学
ディヌウシャ・ランブクピティヤ	① 比較文化論	② 比較文化論など	③ 学術または文学
富吉 満之	① 環境経済学	② 地域農業論、環境創成論など	③ 学術または経済学

教員氏名	①担当予定の専門科目	②専門領域	③授与できる学位
西原 慎治	① 民法、商法など ② 民法、商法など ③ 学術または法学		
畠中 昌教	① 地理学 ② 地誌学、観光論など ③ 学術		
葉山 アツコ	① 環境経済学 ② 森林環境論、森林政策など ③ 学術		
原 賢二	① 応用健康学 ② アスレティックリハビリテーション、コンディショニングなど ③ 学術		
前田 俊文	① 政治学 ② 政治思想史、西洋政治思想など ③ 学術または政治学		
松石 達彦	① 国際経済学 ② 東アジア経済論、アセアン経済論など ③ 学術または経済学		
右田 孝志	① スポーツ科学 ② 運動生理学など ③ 学術		
山田 和敏★	① 経済統計学 ② 計量経済学、経済統計論など ③ 学術または経済学		
吉田 洋一	① 日本史学 ② 日本思想史、日本近世史、日本近代史など ③ 学術または文学		
吉弘 光男★	① 刑事法学 ② 刑法、刑事訴訟法など ③ 学術または法学		

(注) ★印の教員は、修学期間中に退職する可能性があります。詳細は、入試課へお問い合わせください。

試験場案内図



《本学までの交通機関》

御井キャンパス

大学院（心理学研究科、比較文化研究科、ビジネス研究科）

学 部（文学部、人間健康学部、法学部、経済学部、商学部）

西鉄バス系統番号

■ JR久留米駅から 1・2・7・9・40・45・48 所要時間：約25分

■ 西鉄久留米駅から 1・1-1・2・7・9 所要時間：約15分

■ JR久大本線 JR「久留米大学前」駅下車 徒歩3分

久留米大学御井キャンパス配置図



久留米大学入試課

〒839-8502 福岡県久留米市御井町 1635

TEL 0942-44-2160

FAX 0942-43-4539

E-mail nyushi@kurume-u.ac.jp